

2011年

# わが社の経営戦略

(順不同)



当社の状況は、市場の回復とともに効果的な営業を行った結果、リーマンショック前の90%くらいの状態まで戻ってきた。昨年は、前半が太陽光パネルなど新エネルギー関連の設備投資が活発だったことで、当社の搬送システムなどが好調に推移した。今年は、新し

い分野に注力するとともに、東日本地区でのエンジニアリングサービドアップの強化とスピードアップを図りたい。

## エンジニア強化とスピードアップ

国内の内需に対応する製品の開発や、活発化するアジア各国の内需に対応できる製品開発など、国内外の需要動向を見て製品開発に繋げていることで、簡単な加工など

製品展開では、昨年からパネル搬送モジュール群の販売を本格化させているが、今年はモジュール群を分散制御するモジュールコントローラを投入する計画で、より一層の拡販を図る。

このモジュール群は、当社の機械機器と電子機器の要素技術を融合させたもので、顧客側で素早く立ち上げることができ、低コストで高いメンテナンス性が特徴である。経済産業省から支援補助金を頂いており、短期的な搬送モジュールとしてPRを加速させた

見たい。

代表取締役社長 **中村 道一**



エンジニアリングサービドアップの提供とスピードアップを図るため、さいたま営業所を開設。東京営業所を同営業所に移転するとともに、

東日本地区を幅広くカバーする体制を整えた。

# 躍進するFA・制御機器メーカー